

はじめに

広島の海にはさまざまな生きものがくらししており、場所によってすんでいる生きものの種類もちがっています。

これは、海岸や海底の地形、潮の流れ、さらに、海へ流れ込む排水の汚れの程度、海岸などのごみのようす、埋め立てなどの開発の影響といった人間のさまざまな活動による海への影響などが、場所によって異なっているためです。

どのような生きものがすんでいるかを調べることは、その場所の環境の状態を知る手がかりとなります。今ですんでいた生きものがいなくなったり、逆に今までとは違う生きものが見つければ、それは海の環境が変化している証しです。つまり、海にすむ生きものを調べることにより、海の環境の変化を知ることができるのです。

このマニュアルは、瀬戸内海における環境保全活動の活性化を目的とした「広島県せとうち海援隊支援事業」で、せとうち海援隊に認定された団体が、活動メニューの一つとして行う海岸・干潟生物調査で活用していきます。

調査を通して、瀬戸内海に親しみ、生きものの形や感触を実感してください。そして、私たちの生活と生きもののつながりなど、生きものが教えてくれるさまざまな情報について学習し、海を守り、より良くしていくきっかけになることを願っています。

目次

調査にあたって	1
生物調査	9
ひょうちやくぶつ 漂着物調査	35
資料編	39

アイコンの説明



リーダーは
読んでおこう



みんなで見よう